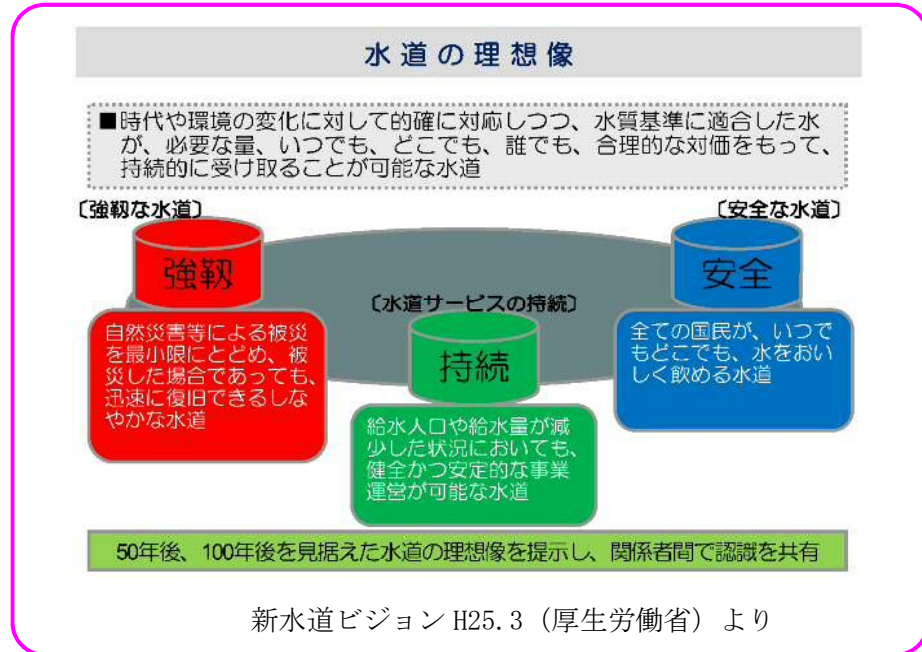


# 越前町水道ビジョン 概要版

## ◆はじめに 水道ビジョン p.2

厚生労働省が平成25年3月に公表した「新水道ビジョン」では、水道水の安全の確保を「安全」、確実な給水の確保を「強靱」、供給体制の持続性の確保を「持続」と表現し、これら3つの観点から、50年後、100年後の水道の理想像を具体的に示し、これを関係者間で共有することを明記しています。



越前町においても「越前町水道ビジョン」を策定し、上記3つの観点「安全」「強靱」「持続」を柱とした水道の理想像（ビジョン）を示し、ビジョンを実現するために取り組むべき事項、方策を提示いたします。

## ◆町内の水道事業 水道ビジョン p.6~8

町内の水道事業は、1上水道・7簡易水道・1飲料水供給施設で運営されています。



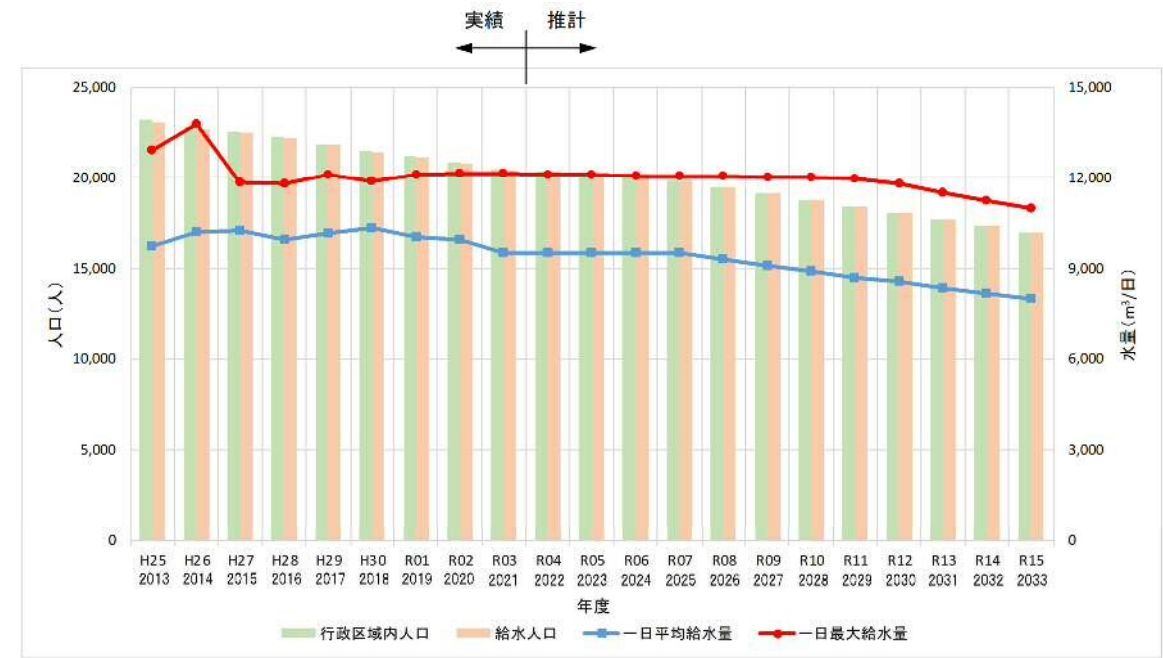
表 越前町水道事業

	上水道 (朝日地区、織田地区の一部)	宮崎地区 簡易水道	越前地区 簡易水道	織田地区 簡易水道
創設認可年月日	平成4年6月4日	昭和46年3月11日	昭和28年10月1日	昭和36年7月31日
計画給水人口 (既認可値)	11,400人	4,300人	7,650人	4,305人
計画一日最大給水量 (既認可値)	5,500m <sup>3</sup> /日	2,365m <sup>3</sup> /日	5,355.96m <sup>3</sup> /日	2,953.4m <sup>3</sup> /日
現在給水人口 (R3年度実績値)	9,700人	3,500人	4,093人	3,130人
一日最大給水量 (R3年度実績値)	4,574m <sup>3</sup> /日	2,817m <sup>3</sup> /日	3,048m <sup>3</sup> /日	1,687m <sup>3</sup> /日
水源種別	地下水(深井戸)・県水	河川水	河川水・ダム水 伏流水・湧水	河川水・地下水(深井戸)

## ◆水道事業を取り巻く現状 水道ビジョン p.26~31

### a) 人口と水量

過去の実績値および『越前町人口ビジョン』に基づき、将来の人口および水需要を推計しました。

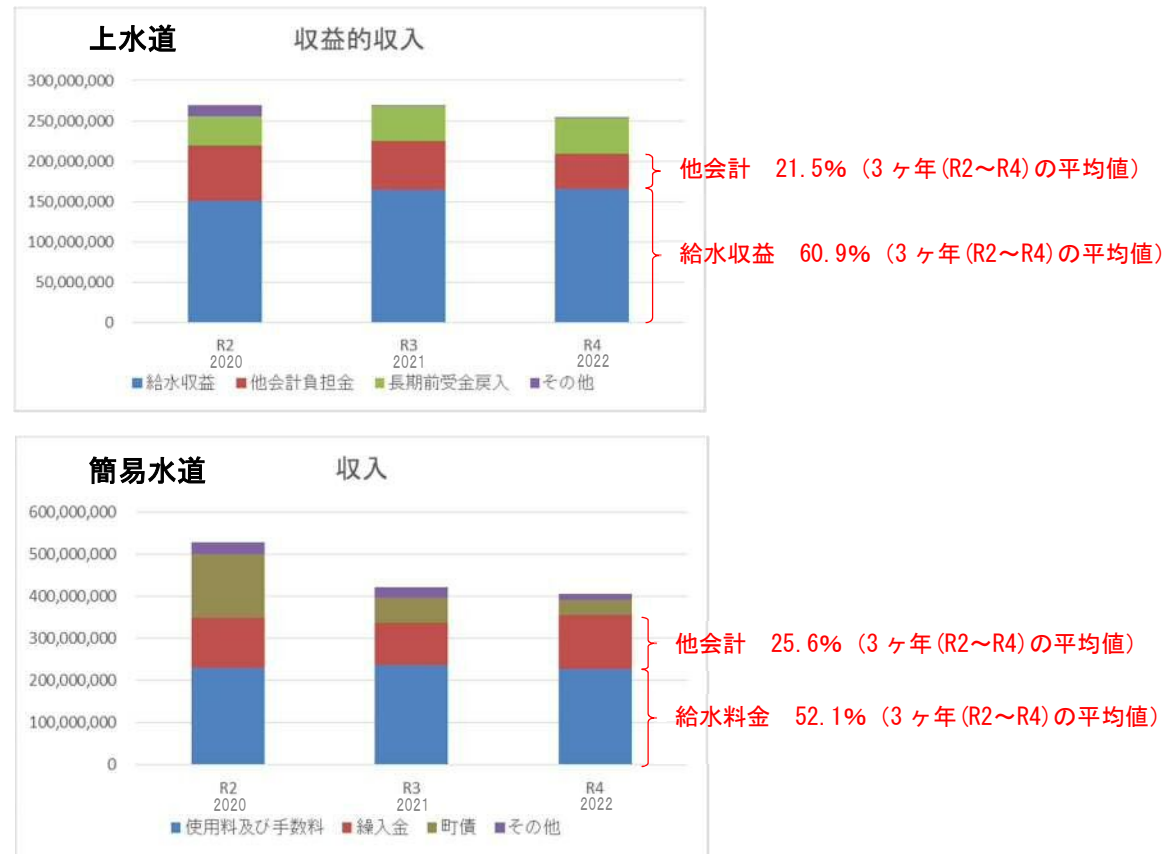


越前町全体の人口と使用水量の推計

	R3(2021)年度	R15(2033)年度	備考
給水人口	20,423 人	17,000 人	▲16.8%
一日平均給水量	9,508 m <sup>3</sup> /日	8,001 m <sup>3</sup> /日	▲15.8%
一日最大給水量	12,126 m <sup>3</sup> /日	10,963 m <sup>3</sup> /日	▲9.6%

b) 経営状況

上水道事業および簡易水道事業における主な収入源の内訳は、以下の通りです。



次に、供給単価および給水原価を示します。

◆上水道の供給単価・給水原価

	(円/m <sup>3</sup> )		
	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
供給単価	127.34	140.16	143.68
給水原価	183.47	173.66	166.78
料金回収率	69.4%	80.7%	86.1%

料金回収率 = 供給単価 / 給水原価

類似事業体\*による料金回収率の平均値 91.0% (R2実績)

※県内4町(南越前町・美浜町・若狭町・高浜町)の上水道事業

◆簡易水道の供給単価・給水原価

	(円/m <sup>3</sup> )		
	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
供給単価	143.02	156.68	158.57
給水原価	226.34	237.99	256.50
料金回収率	63.2%	65.8%	61.8%

料金回収率 = 供給単価 / 給水原価

供給単価を給水原価が上回っており、事業運営が給水料金のみでは賅えないことが分かります。

◆耐震化の状況 水道ビジョン p.35

a) 施設 (R4 現在)

水道施設耐震工法指針 2009 で定めるランク A の耐震基準で設計されている施設は 0 です。

	上水道	宮崎地区	越前地区	織田地区	合計
浄水施設	0 箇所 / 1 箇所	0 箇所 / 3 箇所	0 箇所 / 6 箇所	0 箇所 / 3 箇所	0 箇所 / 13 箇所
配水施設	0 箇所 / 9 箇所	0 箇所 / 6 箇所	0 箇所 / 21 箇所	0 箇所 / 9 箇所	0 箇所 / 45 箇所
耐震化率	0%	0%	0%	0%	0%

b) 管路 (R4 現在)

耐震管率が非常に低いです。越前地区が最も低く、0.6%です。

	上水道	宮崎地区	越前地区	織田地区	合計
耐震管延長	2.22km	1.16km	0.53km	14.02km	17.93km
／管路総延長	／142.15km	／73.83km	／82.31km	／92.10km	／390.39km
耐震管率	1.6%	1.6%	0.6%	15.2%	4.6%

◆老朽化の状況 水道ビジョン p.36

a) 施設 (R4 現在)

法定耐用年数まで 10 年未満の施設が存在します。越前地区が最も多く、5 施設です。

	上水道	宮崎地区	越前地区	織田地区	合計
浄水施設	0 箇所 / 1 箇所	0 箇所 / 3 箇所	1 箇所 / 6 箇所	0 箇所 / 3 箇所	1 箇所 / 13 箇所
配水施設	0 箇所 / 9 箇所	2 箇所 / 6 箇所	4 箇所 / 21 箇所	1 箇所 / 9 箇所	7 箇所 / 45 箇所
老朽化率	0%	22.2%	18.5%	8.3%	13.8%

b) 管路 (R4 現在)

法定耐用年数を過ぎた管路が多いです。上水道が最も高く、63.3%です。

	上水道	宮崎地区	越前地区	織田地区	合計
老朽管延長	89.94km	46.60km	41.37km	28.16km	206.07km
／管路総延長	／142.15km	／73.83km	／82.31km	／92.10km	／390.39km
老朽管率	63.3%	63.1%	50.3%	30.6%	52.8%

c) 有収率 (3ヶ年(R1~R3)の平均値)

越前地区(高佐・白浜、米ノ)以外は有収率が低く、類似事業体による平均値を下回っています。

越前地区(北部)が最も低く、68.9%です。

有収率が低いのは、老朽管からの漏水と想定されます。

	上水道	宮崎地区	越前地区	織田地区	合計
有収率	72.0%	73.0%	北部 68.9%	73.5%	71.9% (越前地区は北部を計上)
			高佐・白浜 95.0%		
			米ノ 94.9%		

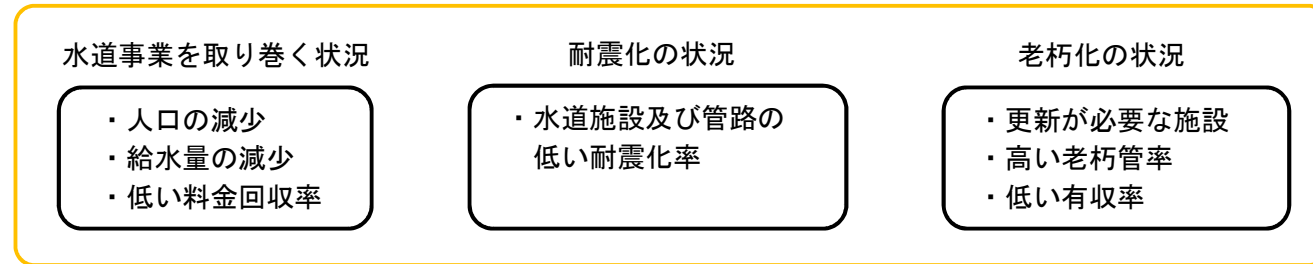
類似事業体\*による有収率の平均値 84.8% (R2実績)

※県内4町(南越前町・美浜町・若狭町・高浜町)の上水道事業



◆越前町水道事業が目指すビジョン 水道ビジョン p.45~47

水道事業を取り巻く状況に耐震化、老朽化の状況を踏まえて、越前町水道事業が目指すビジョンを【強靱】【持続】【安全】の観点から示します。



**越前町水道事業が目指すビジョン**

重点取組項目 1

施設及び管路の耐震化 **【強靱】**

重点取組項目 2

老朽化施設の更新 **【持続】**

重点取組項目 3

配水エリアの再編 **【強靱】 【持続】 【安全】**

重点取組項目 4

健全な経営 **【持続】**

重点取組項目 5

危機管理 **【強靱】**

施設及び管路の耐震化

**【強靱】** ⇒ 地震に強い施設・管路の構築

**施策 1** 施設の耐震診断

大規模地震が発生した時、耐震性を有していない水道施設は機能を発揮できません。そこで、水道施設が大規模地震に対する耐震性を有しているか調査を行います。その後、調査結果や施設の重要度に応じて耐震補強工事を検討します。

**施策 2** 耐震管路の整備

大規模地震が発生した時、耐震性を有していない水道管は皆さまに水を届けることができません。そこで、各水道施設をつなぐ基幹管路及び災害時の重要拠点である公共施設や病院等への重要給水施設管路について、耐震性を有する管種による整備を行います。

老朽化施設の更新

**【持続】** ⇒ 計画的な施設・管路の更新により、安定した水の供給を継続

**施策 1** 施設更新の基本設計

老朽化した水道施設は機能を十分に発揮できません。建物だとコンクリートが劣化していたり、機械・電気設備だと故障が多くなったりします。そこで、施設更新の基本設計を行い、計画的な更新を図っていきます。

**施策 2** 管路の更新計画

老朽化した管路は漏水が多くなり、大事な水を無駄にしてしまいます。そこで、管路の更新計画を立案し、老朽化した管路の更新を図っていきます。また、更新の際には耐震性を有する管種の採用を検討します。

配水エリアの再編

**【強靱】 【持続】 【安全】** ⇒ 効率的な水運用により、安定した水の供給を継続

**施策** 配水エリアの再編を検討

現在の水道施設の多くは平成17年2月の4町村合併以前におけるものであるため、隣接する地区同士における水の相互融通がうまく行われていません。また、昭和40~50年代に整備されたような古い施設の運用に苦慮しています。そこで、配水エリアの再編を検討し、効率的な水運用を目指します。

健全な経営

**【持続】** ⇒ 経営基盤の強化

**施策** 水道料金の改定を検討

将来の人口減少に伴う水需要の減少や、老朽化している施設の更新費用の増大により、町の水道経営は厳しくなると想定しています。水道を持続し続けるためには、経営基盤の強化が必要です。そこで、経営戦略の策定を行い、適正な水道料金への改定を検討します。

危機管理

**【強靱】** ⇒ 災害による被害を最小限に留める

**施策** 災害時における対応の強化

災害（地震・津波・豪雨・土砂崩れ等）が発生した時は『越前町地域防災計画』に基づいて速やかに水の供給を確保すると共に応急復旧用資機材の整備及び応急復旧体制の整備を図ります。また、必要に応じて給水車による応急給水を行います。